

木材価格市況標準相場

令和5年4月3日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値下げ品目	27
平 角	3
国産構造材	5
米材(製品)	8
北洋材・北欧材	5
合板	6

○今月の市況動向

3月の商況は、荷動き不振の報告が大半を占めた。値下がり品目数も昨年末より、21・21・34・27品目となっている。先月同様、非住宅関係では動きがあるとの報告もあった。

(国産材) 秋田では、原木相場を牽引した合板工場の買いが止まり、原木価格が4割以上の値下がり。構造材の動きは悪いままだが、イベントや選挙で使う小割の動きが良かったとの報告。

(輸入材) 米松製品では、集成材と国内最大手メーカーの価格に引っ張られて弱い状態。現地コストは合ってなく、生産調整は継続との報告。SPFでは2ndQtrの契約価格は下げとなり、これはヨーロッパメーカーとの競合の影響との報告

(合板) 国内針葉樹メーカーの減産は続いているが、在庫は増えている状態。輸入合板では、商社の3月決算対策価格が見られたが、荷動きは低調。入荷量は激減しているため、港在庫は減少との報告。